

文化・芸術

「渡良瀬川」

2023年、アクリルガッシュ
画用紙72・7枚×51・5枚（作者蔵）

フカツクミコ（1985年）

フカツクミコさんは1985年、みどりの市生まれ。2008年、多摩美術大学生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻卒業。11年から本格的に作家活動を開始しました。何気ない日常の情景、日々の思いを柔らかなタッチで描きます。個展やグループ展、自主制作をメインに原画の受注制作、パッケージイラスト、ディスプレイ絵画などを手がけてきました。

桐生を離れ、時間が経過するほどに豊かな自然や技術、産業があるこの街の魅力を一層感じているといえます。本作は、桐生の山や川、風や光を、抽象的に表現しつつ織物のようなテクスチャーで描きたいと制作した4点組みの最新作のうちの1点です。

高校時代、大間々から桐生へ毎日10^分の距離を自転車に乗ったというフカツクさん。作品タイトルの「渡良瀬川」は、桐生への入り口であり、気持ちのスイッチが入る瞬間、場所であったと語ります。

（小此木）

※28日（土）午後2時から展示室でフカツクミコさんのアーティストトークを開催。



「名画の扉」

大川美術館企画展「桐生のアーティスト2023 KIRYU Days—昨日の明日、そしてこれから」から